



船橋ライオンズクラブのルーツを探る “わがクラブは永遠に不滅です”

333-C地区 元地区ガバナー

L 木下 務



1957年4月12日東京LCより東京日本橋LCが誕生、その後1年9ヶ月後の1959年1月27日、日本橋LCのチャーターを受け浅草LCが生まれ、その浅草LCが立て続けに子供を出産、1961年6月26日神田LC(2007年7月合併により中央LCに名義変更)そして2番目に船橋LCが生まれた。それは1961年9月27日の事であった。3番目隅田川LC1961年10月14日続いて1963年7月24日江戸川LC、最後が蔵前LC1966年3月8日であった。千葉県内で1番最初に出来たクラブが市川LCその系列は73クラブであり2番目が我が船橋LCが33クラブ、3番目千葉LCで31クラブと成っている。現在千葉県内のLCは合計136クラブが活躍している。

我が船橋LCには2つの自慢がある。そのひとつ、人生僅か50年と言ったのは昔のこと、いまや80年、90年は当たり前、39人のチャーターメンバーの内、唯一の生き字引、斉藤貞雄名誉顧問・元地区ガバナーである。37才の若さで結成会に参加、現在87才であるが、元気いっぱい必ず例会には出席、又他クラブの周年行事にも顔を出してくれる。さすが、元海軍大尉である。尊敬の致りです。そのふたつ、ライオン木全純会長である。1983年生れの28才、まだ独身で入会7年目、IT関連の会社の社長さん。何んと驚くなかれ、メルビンジョーンズフェローの1000\$献金を毎月28回連続で納めた怪物である。私も80才、60周年までもつかどうか。だが木全会長は28才あと50年経っても78才、これで50年経って、我がクラブの100周年記念も大丈夫と思っている。私の願望だが100周年の会長も木全会長で、そのスピーチが聞けないのが非常に残念に思います。

私もLCに入会して36年、20世紀から21世紀(2000年から2001年)に地区ガバナーを努めさせて頂きました。これもクラブメンバーの温かいバックアップの賜物と心から感謝いたしております。斉藤元ガバナーは常々俺は死ぬまでライオンズを退会しないとっておられます。私も斉藤大先輩に見習って死ぬまで頑張るつもりです。

最近、木全会長を始め若いメンバーが友人達を入会に導いてくれ平均年齢が非常に若返った事が喜ばしい事です。

船橋ライオンズクラブは永遠に不滅です。

50周年は遠道の半ば、100周年記念に向かって頑張ろう。



奉仕の美学、希望の光を求めて CN悠揚の50年、まだ50年の序幕の中で



333-C地区 元地区ガバナー
333複合地区 LCIFコーディネーター
日本ライオンズクラブ連絡事務所管理委員会

L 小西 宗仁

桃季言わざれども下自ずから蹊をなす(史記)

親朋なるわがクラブメンバーの推挙と地区内メンバーのお支えにより2007年6月、シカゴの国際大会で不肖私儀は333-C地区ガバナーに就任。「簡朴と礼容に心して世界に示そう奉仕の美学」をスローガンに掲げ、走り続けた熱き一年を憶念する。県下二番目の伝統あるクラブとしては数えて46年目の夏と想起する。初代加藤元彦ガバナーから数えてクラブ五人目のガバナーとして矚目された。次代を拓く若者に夢と希望と厳しい現世に即応出来る力をと希い、地区として始めてライオンズクエスト事業への取組みを宣明した。現在LCIFコーディネーターや日本ライオンズクラブ連絡事務所の管理の重責を担って実感することは船橋LCの系譜の重みと先達からの薫陶に浴したことえの感得であろう。

◎今年度のスクラッグス国際会長は折々「LCIFを通じて最も貢献しているのは日本LC」と評価。CSFIIやLCIFに卓越した指導力を発揮された山浦晟暉国際理事は「今こそ日本の立場の強化の必要性」を折に触れ熱望されてきた。後藤隆一元国際理事の折々の助言の通り私はこれらの活動実践こそ国際奉仕団体としての奉仕の美学と信ずる。

◎わがクラブが誇る唯一のチャーターL斎藤貞雄をはじめ故L小泉昭、L木下務の平素の真摯な生活の取り組みに多くの訓化を得た。L斎藤貞雄は昭和天皇が崩御された年に叙勲に浴され祝宴が企画され進行役の任を担う私も準備に心していたが、この時期に晴れがましいことは自粛と決断、流石は日本海軍出身らしい処断に改めて叡慮、敬慕した。LCの本義を熱誠を以って教唆したL小泉昭キャビネットでは黒子に徹して汗し、世界中を走り回ったL木下務キャビネットでは幹事役としてL三橋恒夫会計とライオンズ人生ド真中を闊歩。わがL小西キャビネットでは幹事役にL山内豊彦の応援を受け、わがクラブからL石橋、L内山が支えてくれた。その時クラブはL下川、L高松、L志村等が陰に徹して奮進。然し会員が大量に削減し活動が低迷劣化の時、私は一日1人を目標に会員増強に走り十余名のメンバーの入会を果すことが出来た。今、次代を担う秀なる若手メンバーが軸となり奉仕活動も活況を呈してきたことを実感する。

◎在平素。平素に在りとは日本画家川合王堂の遺訓である。普段から心しなければ、いざという時に間に合わぬ。桜花綻ぶ中にもやがて散るが、桜は来年に向けてすぐに準備に入るといふ。昨今の日本の逆境時中ので、わが国には生活を極限にまで簡素にし心の豊かさを以って風雅を楽しむ文化がある。弱者に惻隱の情を以って生き抜く姿勢を次代を担われる若きメンバーに期待し再び雄々しく獅子吼の到来再成熟を希う。CN50年の時の経過とCN100年への時の始まりの中で、現有メンバーの中からCN100年の獅子吼を確認される日の遠からんことを。(仁 恕)

- | | |
|----------------------------|-----|
| 1. 東日本大震災被災地に義捐金及び援助物資寄贈 | |
| 2. 船橋駅前に記念植樹 | 一 式 |
| 3. 船橋市中学生弁論大会優勝者をYCE生として派遣 | |
| 4. 船橋市消防・救命・救急後援会立ち上げ支援 | |
| 5. 日本盲導犬協会支援 | 金一封 |
| 6. アイメイト協会支援 | 金一封 |
| 7. 千葉県アイバンク協会支援 | 金一封 |
| 8. 日本網膜色素変性症協会支援 | 金一封 |
| 9. 船橋市社会福祉協議会支援 | 金一封 |
| 10. LCIF献金 | 金一封 |



記念植樹



盲導犬協会支援

5周年記念事業

「船橋運動公園にヒマラヤ松・ツツジの造園」



10周年記念事業

「交通災害遺児救済の奨学資金制度の設定」



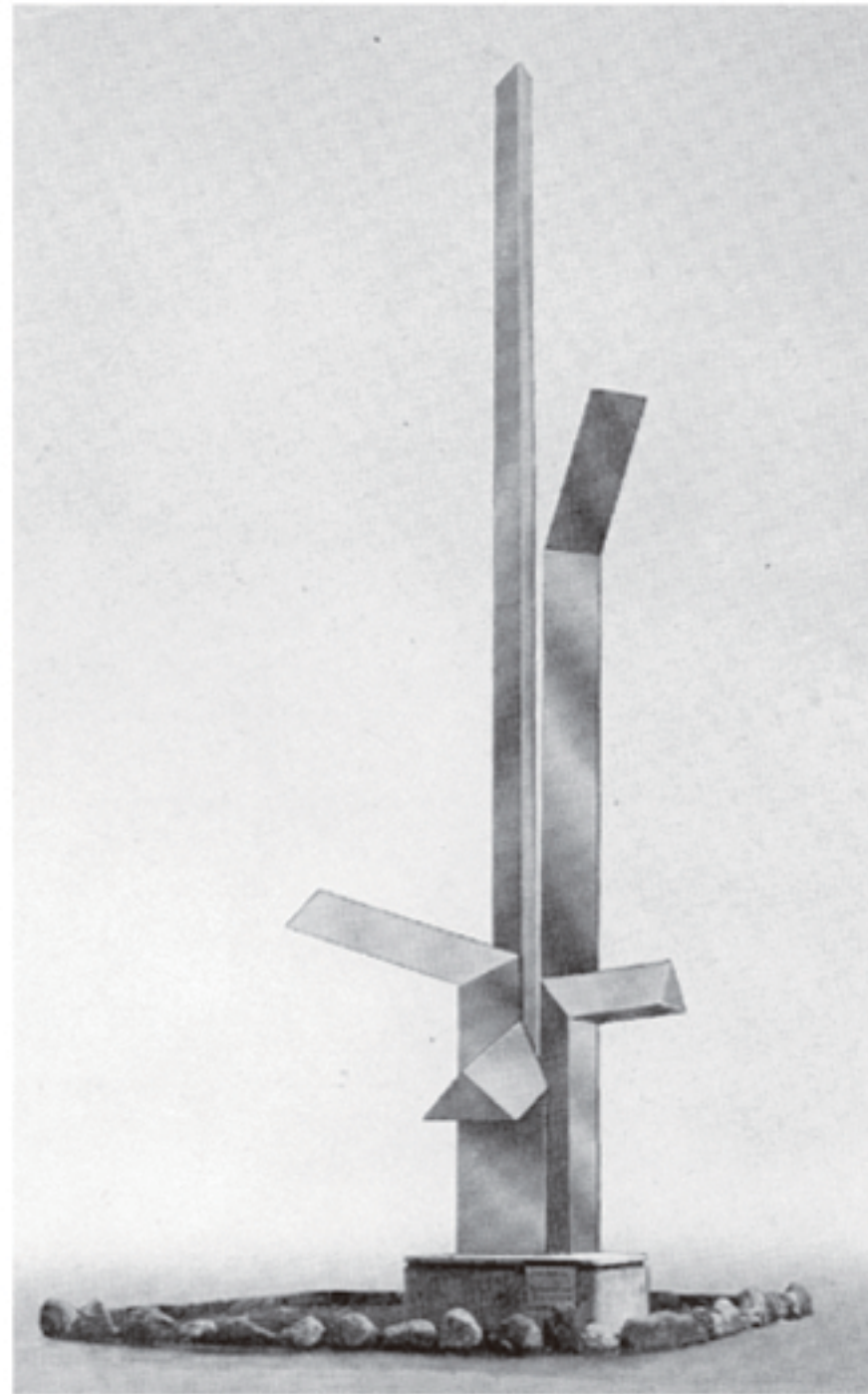
15周年記念事業

「船橋運動公園、市民プールサイドに10本の楠を植樹」



20周年記念事業

「20周年記念塔「転生」を船橋警察署前に設置」



25周年記念事業

「船橋市運動公園に菖蒲苑及び植栽事業を実施」

